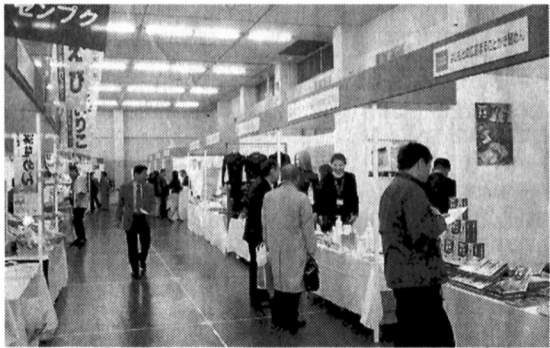


第4回ビジネスフェア中四国

2日間で3600人が来場



110社・団体が出展した

中四国地域を南北に連な

る浜田、広島、呉、松山の4市の行政と商工会議所が組織する、ビジネスフェア中四国実行委員会は3、4日の両日、広島市総合展示館（広島市西区商工センター11-14-1）で第4回ビジネスフェア中四国―中四国発・ユニーク商品見本市―を開催した。

同フェアは毎年この時期に行われ、今年で4回目。「地域のこだわりのある商品を開発しているが、販路

がなかなか確保できないという中小零細企業のビジネスマッチングが目的」と広島市経済局観光コンベンション推進部笹口良治課長補佐・浜田、広島、呉、松山の4市を中心に、鳥取・島根・岡山・広島・山口・愛媛・高知各県の20市・6町および広島市の姉妹都市である大韓民国の大邱（テ

会場は、地域ブランド食

品、健康・快適生活、エコ生活とテーマごとに大きく3つに分けられた。健康・快適生活コーナーでは、防火・火災検出センサーをはじめとする商品開発を行っているアンテックが、火災に含まれる紫外線だけに反応し、太陽光に含まれる紫外線の影響を受けないという国内唯一の放火検出センサーを出展、実演していた。

前回から参加の韓国製品のコーナーでは、指紋認証ドアロック、ポリ袋のくち止めロック「Any Lock」など、特徴ある商品「ck」などが出展されていた。また今回初めて、トークショーや出展企業による自社商品のプレゼンテーションが行われ、会場を盛り上げた。

グ）広域市から、地域の特色ある商品や暮らしに身近な健康・エコ製品などを扱う110社・団体が出展し、2日間でバイヤー約500人、一般来場者約3100人の約3600人が訪

笹口課長補佐は「天気が悪かったことなどから、若干来場者数が伸びなかったが、ビジネスマッチングという内容としては充実したものになったと思う」と2日間を振り返った。

平成18年2月22日（水） 電波新聞